



江の島国際芸術祭関連プロジェクト 2024

Cave3D (洞窟 3D)

概要

江の島国際芸術祭が2024年も開催されます。芸術祭公式プログラムの産学連携企画として、東京工芸大学では「Cave3D」を開催します。*Caveは洞窟。

Cave3D 企画構成

- 1 LiDARによる点群の3Dスキャンによって構築した洞窟3Dの視点移動を Youtube で公開しました。
洞窟の3D視点移動 <https://youtu.be/RoPJtjSmRUQ>
洞窟の立入り禁止区域を含んだ奥までの3D視点移動 <https://youtu.be/zzpZb8pk6tY>
- 2 江の島の外形をソリッドカラー、半透明カラー、透明カラーの3種類を用意しその、モデルの内部に洞窟の3Dを再現しました。
- 3 透明江の島モデルに洞窟の3Dを埋め込んだ透明な大型（ケースで0.9m）モデルを展示しました。
- 4 日本写真学会年次大会（5月）、日本画像学会（6月）にて、スキャン、モデリング、造形の内容を学会発表（講演）の一部で行います。

展示場所、内容

展示場所は「江の島の岩屋の洞窟内」と「藤沢市役所1Fのプロムナード」。展示者は東京工芸大学、内田研を中心とした有志とし、独自に洞窟をスキャンした3Dモデルの3Dプリントの展示がなされています。特に、洞窟はその造形や位置関係を空間的に把握するため、透明な江の島のモデルに洞窟の3D形状を埋め込んだ工夫がなされた展示です。これによって、見学者の直感的な洞窟の把握が可能になっています。

展示日時 2024年4月中旬～5月31日

